安全データシート（ＳＤＳ）

第１版

作成日：令和１年　１１月１５日
改訂日：令和２年　４月２８日

１．　製品及び会社情報、製造所情報

製　品　名　　カルバスターＳ

会 社 名：株式会社ヘルスビューティー
住　　所：愛知県名古屋市南区菊住二丁目５番８号
電話番号：052-618-7558
Ｆ Ａ Ｘ：052-821-0919

製造所名：株式会社ヘルスビューティー　常滑工場
住　　所：愛知県常滑市久米字池田 179
電話番号：0569-43-9111
Ｆ Ａ Ｘ：0569-43-0039

２．危険有害性の要約

ＧＨＳ分類

健康に対する有害性	：急性毒性（吸入：粉じん、ミスト）	：区分４
	：皮膚腐食性及び皮膚刺激性	：区分２
	：眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	：区分２Ａ
	：呼吸器感作性	：区分１
	：特定標的臓器毒性（単回曝露）	：区分２(呼吸器系)
	：特定標的臓器毒性（反復曝露）	：区分２(呼吸器系、歯)
環境に対する有害性	：水生環境有害性（急性）	：区分２

上記に記載のない危険有害性区分は「分類対象外」、「分類できない」又は「区分外」である。

ＧＨＳラベル要素

絵表示又はシンボル：

注意喚起語　：危険

危険有害性情報　：皮膚刺激
：強い眼刺激
：吸入すると有害
：吸入するとアレルギー、喘息又は呼吸困難を起こすおそれ
：呼吸器系の障害のおそれ
：長期にわたる又は反復ばく露による呼吸器系、歯の障害のおそれ
：水生生物に毒性

注意書き

【安全対策】　：取扱う前に、「安全データシート」をよくお読みのうえ作業して下さい。
：粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。
：粉じん、煙、ガス、ミスト、蒸気、スプレーの吸入を避けること。

：この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。
：環境への放出を避けること。
：保護手袋、保護衣、保護眼鏡、保護面を着用すること。
：換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。

【救急処置】
：皮膚に付着した場合、多量の水と石鹸で洗うこと。
：吸入した場合、空気の新鮮な場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。
：眼に入った場合、水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
：ばく露又はばく露の懸念がある場合、医師に連絡すること。
：気分が悪い時は、医師に連絡すること。
：気分が悪い時は、医師の診断、手当てを受けること。
：皮膚刺激が生じた場合、医師の診断、手当てを受けること。
：眼の刺激が続く場合、医師の診断、手当てを受けること。
：呼吸に関する症状が出た場合、医師に連絡すること。
：汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。

【保管】
：通風をよくし、直射日光が当たらない冷暗所に保管する。
：酸化剤、還元剤、塩素化合物、アルカリ製剤を近くに置かない。

３．組成及び成分表示

化学物質・混合物の区別　：混合物
官報公示整理番号（化審法）　：有り
官報公示整理番号（安衛法）　：有り
成分及び含有量

成分	含有量（%）	CAS 番号
塩酸	非公開	非公開
有機酸	非公開	非公開
無機酸	非公開	非公開
還元剤	非公開	非公開
水	非公開	非公開

４．応 急 処 置

眼に入った場合　水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。

皮膚に付着した場合　汚染された衣服、靴などを速やかに脱ぎ捨てる。製品に触れた部分を流水にてぬめり感がなくなるまで洗い流す。外観に変化が見られたり、痛みが続く場合、速やかに医師の診断を受ける。

吸入した場合　鼻をかみ、うがいをさせる。被災者を新鮮な空の場所に移動させ安静した後、速やかに医師の診断を受ける。

飲み込んだ場合　水を飲ませるなどの処置をし、直ちに医師の診察を受ける。

５．火災時の処置	保 護 具	一般慣例に従う
	消火方法	消火剤を用いて風上から消火する
	消 火 剤	水、二酸化炭素、泡、粉末消火剤

６．漏出時の措置	土砂等に吸着させて取り除くか、大量の水で洗い流す。洗浄水は消石灰、ソーダ灰等で処理する。この場合、濃厚な廃液が河川等に排出されないように注意する。

７．取り扱い上の注意	取り扱い時	取り扱いは換気のよい場所で行う。 取り扱い場所の近くに、緊急時に洗顔及び身体洗浄を行うための設備を設置する。 漏れ、あふれ、飛散しないようにする。 屋外での取り扱いはできるだけ風上から行う。 皮膚、粘膜又は着衣に触れたり、眼に入らないようにする。
	保　管	保管場所には多量の水を流せる設備を設ける。 通風をよくし､直射日光が当たらない冷暗所に保管する。 酸化剤、還元剤、塩素化合物、アルカリ製剤を近くに置かない。 火気、熱源より遠ざける。

８．暴露防止措置	管理濃度	データ無し。
	許容濃度	データ無し。
	設備対策	多量の水を流せる設備。屋内の場合は換気設備。
	保護具	保護マスク、安全ゴーグル、ゴムまたは塩ビ製手袋。
	保護衣	状況に応じて着用する。

９．物理/化学的性質	外観等	無色透明の液体
	におい	刺激臭を有する
	沸　点	不明
	蒸気圧	不明
	蒸気比重	不明
	揮発性	有り
	融　点	不明
	比重又は嵩比重	1.160（25℃）
	水溶解性	任意の割合で混和
	ｐＨ	１以下（原液）

10．安定性及び反応性	引火点	不燃
	発火性	不燃
	爆発限界	上限:データ無し(原材料の性質より爆発性はないものと考えられる)。
	爆発限界	下限:データ無し(原材料の性質より爆発性はないものと考えられる)。
	可燃性	不燃

酸化性	あり
自己反応性・爆発性	データ無し(原材料の性質より爆発性はないものと考えられる)。
安定性・反応性	通常の取り扱い条件下で安定。
その他の情報	特記事項無し。

---

11. 有害性情報	皮膚腐食性	やけど(薬傷)を起こす。
	皮膚刺激性	刺激性あり
	眼刺激性	粘膜が刺激され、失明することがある。
	感作性	データ無し
	急性毒性	データ無し
	亜急性毒性	データ無し
	慢性毒性	データ無し
	ガン原性	データ無し
	変異原性	データ無し
	生殖毒性	データ無し
	催奇形性	データ無し

---

12. 環境影響情報	分解性	自然界で分解される。
	蓄積性	認められていない。
	魚毒性	データ無し
	その他情報	原液に近い溶液を直接河川及び浄化槽に流さない。

---

13. 廃棄上の注意

撹拌しながら徐々に石灰乳などの溶液に加え中和させた後、多量の水で希釈して流す。
製品の容器及び包装は各自治体の廃棄規則に従い廃棄すること。

---

14. 輸送上の注意

容器の破損、漏れのないことを確かめる。
荷崩れ防止を確実に行う。
該当法規に従い、包装、表示、輸送を行う。
液漏れ及び直射日光を避ける。
酸化剤、還元剤、塩素化合物、アルカリ製剤に接触しないようにする。

---

15. 適 用 法 令　　適用法令該当無し

---

16. そ　の　他	事故・災害事例	記載される情報はない。
	問い合わせ先	製造者情報の項を参照。
	引 用 文 献	「製品安全データシートの作成指針」 （社）日本化学工業協会編 「ＧＨＳ対応ラベルおよびＳＤＳの作成マニュアル」 厚生労働省医薬食品局

記載内容は当社の最善の調査に基づいて作成しておりますが、記載のデータや評価に関しては必ずしも安全性を十分保障するものではありません。すべての化学製品には未知の有害性が有り得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。

使用者各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い致します。